

主な症状が局所的な循環障害によるとしても、大半は全身性疾病の一部分症でもあります。全身的な治療も悪くなっています。従つて、サナモア光線療法を行うに当たっての原則は、患部照射だけでなく基本照射（全身照射）を必ず併用しなければなりません。即ち、基本照射によって全身の血液循環を改善させると共に、患部には長時間、頻回照射を行つて局所充血を起こさせ、局所循環を促進させることが大切です。

この際のカーボンは、主にAカーボンとBカーボンを組み合させて使用しますが、高度の循環障害のために感染や壞死を起こした場合には、患部はACカーボンやBCカーボンで照射します。照射時間ならばに照射回数は、前述したように患部に可及的長時間かつ頻回に照射しましたが好結果が得られます。具体的に照射法の一例を記しますと、ABカーボンで、腹、背

前号に紹介したところによれば、外因性の循環障害の中から、局所的な循環障害に起因する疾患を取り上げ、サナモアの使い方について記述します。

循環障害

前号に続き日常経験することが多い外科的疾患の中から、局所的な循環障害に起因する疾患を取り上げ、サナモアの使い方について記述します。

に杜絶するたれ血行が局所的に、組織は早晚壞死（局所死）に陥ります。壞死を起こした部位の皮膚は青黒くなり、壞死部は肉芽組織で分割され離脱し、瘻を作りますが、瘻と呼びます。サナモアは病巣部の血液循环循環を佳良にするだけなく、殺菌作用によつて肉芽組織を清潔を保つと共に、肉芽の形成を促す作用がありますから、治癒に至るまでの期間を短縮します。なお褥瘡は予防が特に大切です。それには栄養状態を良好に保ち、圧迫され易い部位に軟らかい下敷きを当てがつたり体位を頻々変え、局所を清潔に保つと共に

初期には自覚症はありませんが、進行すると下肢の疲労感や痛みを訴えたり、皮膚が萎縮して湿疹を起こし易くなります。また血行不全が高度になると、下腿潰瘍（静脈瘤性潰瘍）を生じます。

光線療法は症状を改善し、悪化を予防します。なお下腿潰瘍は極めて難治ですが、根気良く治療を続けることで治癒させることができます。

サンモア光線協会  
サンモア中央診療所

## 日常経験する外科的疾患に 対するサナモア光線療法(その2)

**光明**  
**(老人性硬症)**  
糖尿病や高血  
圧が原因とな  
る高度の動脈硬  
化を起こし内臓  
循環を阻害する  
病の一病で老年の  
男性に好んで発  
します。臨床的には  
次のバージニ  
ヤー病と同様な症  
状を呈します。  
治療は患部照射に  
加えて必ず其の  
本照射を行い、コレ  
ステロールの値を  
低下させると共に全  
身の血液循环を促  
し、同時に他臓器の  
血管病をも防ぐこと  
が大切です。

リソバ節が広範囲に破壊されるのが原因です。特にがんの根治手術として所属リンパ節の廓清術が普及するに連れ、術後合併症として手、足の象皮病を見覚める機会が多くなりました。なお熱帯地方および沖縄や伊豆諸島では、フィラリア原虫がリンパ管に寄生するフィラリア症で起管します。

手や足のリンパ液が流れないと浮腫を起こし、始めは押すと凹みますが、段々と腫れがひどくなり、病気が長く続くと線維組織が増殖して象の皮膚のように硬くなります。

軽減することが期待できます。よつて、発病を予防し、症状をなくすことが可能になります。

な所属リンパ節（腋下、鼠蹊部）へ掛けることを忘れないでください。

# 世界と光線

発行所  
〒153  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア光線協会  
年4回発行  
会費年500円  
電話 東京(03) 793-5281  
712-5322

(3) **レイノー病**  
四肢、特に手指が間欠的に蒼白になり、冷感や痛みがありますが、発作を繰り返すうちに潰瘍になることもあります。血管運動を支配する自律神経の交感神経が緊張して血管が収縮し血行障害を起こすためと考えられていますが、原因はよく分かっていません。圧倒的に女性に多い病気で、若年者<sup>10</sup>～<sup>20</sup>歳代に好発します。

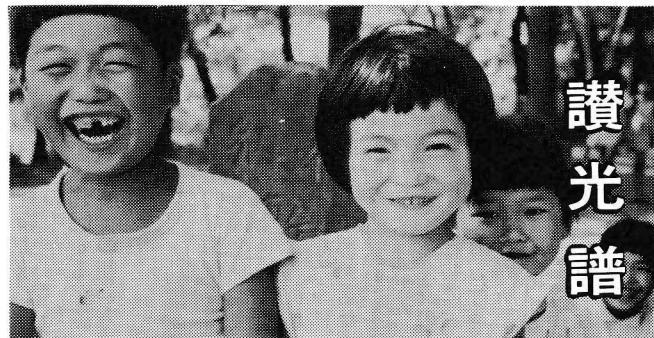
光線療法は他の治療と比べて顕著な効果を示します。照射法は四肢端（手掌と手背、足と足甲）各10～20分、肘や膝に前後から各10分、腹10分、腰10分です。

なお一次的に同様な症状を起す場合をレイノー症候群と呼び、チエーンソーやを使

(6) 象皮病  
リンパ節が広範囲に破壊され、初期ならば炎症を鎮め血流を促すことによって病状の進行、悪化を抑制します。またある程度進行して治療に難渋する創傷を生じていても改善します。必ず禁煙すること。

く発病します。  
症状は下肢のしびれ感、冷感に加えて、痛みのため休み休みびっこを引きながら歩きます(間欠性跛行)。また足の指先に傷をつくり易くなり、一旦出来ると血流が途絶えているためなかなか治りません。進行悪化して下肢末端が壊疽を起こしたときは、患肢を切断することがあります。

し血流を阻害します。青壯年期の男性に好発しますが原因は分かつております。喫煙者に多く発病します。



宇都宮義真撮影

「おともだち」

かぎり太陽の光線に当てなければならぬ。人間の敵である病原菌は日光にあたれば死滅する。のみならず太陽の光線は我々に細菌に対する抵抗力を付与し、かつクル病の場合のようにある種のビタミン欠乏症による化骨障害を予防する効果がある。

骨を強くするにはカルシウムを多く摂る必要があるとして、カルシウムを比較的多く含有する食物、例えば小魚、貝類、花草、牛乳の如きものが盛んに用いられている。



併しカルシウムを与えさえすれば吾人の骨は直ちに強くなる

かというと、人体はそれほど簡単便利には出来ていない。我々の体内にカルシウムの欠乏を来す原因は、カルシウムを摂取す

ある。

シウムを口から入れた處で單に消化器の負担を加重するだけで何等の効果も期待し得ないのである。



3、骨を強靭にする。  
カル氏)。

がある。

この働きは光線の持つ不可思議なる作用の一端に過ぎない。最近の研究によると

肺結核には光線が特に有効だと云ふ事が判明した。しかし、その他の慢性疾患の予防や治療効果を一層強化させることが肝要で、無闇にカル

シウムを吸収し骨にカルシウムと燐を沈着させる化骨作用は、シウムを吸収し骨にカルシウムと燐を沈着させる化骨作用は、

ビタミンDの補助的作用を絶対に必要とするのである。

光線に独特のもので何人も否定できない作用に、

1、皮内の7-デヒドロコレステロールを活動性のビタミンDにする(ウイニングダウス氏ノーベル賞受賞)。

2、血液中のカルシウムを増す(ロートマン氏、カルレンベルク氏)。

3、骨を強靭にする。

光線療法には人体の諸機能を強化し体质を改善する作用のあるのである。言うまでもなく単に化骨作用だけをとっても必要欠くべからざるものなのである。

「光と熱」 昭和13年10月1日発行  
—光線と化骨作用—  
「光と熱」 昭和13年8月1日発行  
—太陽を忘れてはならぬ—  
より要約した。

(前) 号にビタミンD剤(日本では普通薬扱いのため簡単に入手できる)を経口的に過剰に摂取すると重大な弊害をもたらすので、誰しも自己の判断で絶対に服用してはならないことを述べた。ビタミンDを薬として使用するには、高度に専門的な知識と細心の注意が必要である。

ビタミンA、D、Kの如き脂溶性ビタミンは、ビタミンB、Cなどの水溶性ビタミンと異なり、殆ど尿中に排泄されず、僅かに糞便中に排泄されるだけなので、体内に蓄積して中毒症状を起こすのである。そのため勝手に飲み過ぎれば、ビタミンD過剰症と呼ぶべきとした病気になることを忘れてはならない。このビタミンD過剰症について概説する。

(し) 既に述べたように、一九三〇年代にウイニングダウスらがビタミンDの分子構造を解明し有機合成法を確立したことによつて、ビタミンDは極めて安価に手に入るようにになった。その結果、歐米では牛乳や調製粉乳を始め、色々な食品にビタミンDを添加して、長年に亘り人々を苦しめたクル病や骨軟化症を地上から抹殺すると共に、保健の目的に使用せんとしたのである。

(し) しかし、そのことがビタミンDの本質、即ち地上の総ての生物は光線の助けを借りてビタミンDを生成するのが自然の理に適う事実を見誤らせ、一方で母乳栄養児(ビタミンDを含まない)や乳製品を摂らない菜食

(健) 康な人々が健康を保持するためには光線を浴びることは、一つビタミンDを例に考えても絶対的に不可欠である。この摂理を無視したが故に、ビタミンDに関する弊害を引き起こしたと云つても過言でない。以前にビタミンD欠乏症は文明病と述べたが、ビタミンD過剰症もまた文明病である。これまで繰り返し記述したように過剰に浴びようがビタミンD過剰症は起こらないのである。

應用光線療法學 (33)

## □ ビタミンDの作用 □

その30

(ビ) タミンDの過剰摂取に伴う症状は、大別して急性と慢性がある。ビタミンDの摂り過ぎで急激に高カルシウム血症を起こすことが明らかにされているが、当時はそこまでは分かっていなかったのである。

が上がったり、血中コレステロール値が上昇したり、腎機能障害（最悪の場合、急性腎不全となる）を起こしてBUNやクリニニンの値（腎臓から排泄される窒素代謝産物）が高くなり、レントゲン検査で結石を随所に認めるようになる。

はない。たとえで大きな誤りは、それが産業革命による大気汚染や生活環境の変化によってビタミンD欠乏症を起こし、それを治療せんとしてビタミンD過剰症が生じたのである。

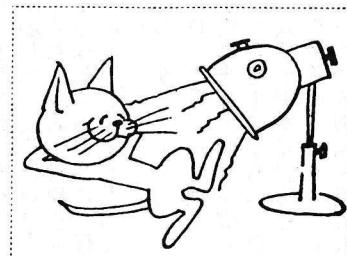
この事実は、如何に太陽光線が重要かを如実に物語つており、光線医学の先覚、ヘスが一九二五年に残した、「太陽光線こそビタミンDである」との言葉を今こそ頭に刻み込むことが求められているのである。

ビタミンD過剰症の臨床所見	胃腸症状 食欲不振、口渴、多飲、恶心、嘔吐、下痢、便秘、腹部不快感、体重減少。
精神・神経症状 全身倦怠感	頭痛、記銘力障害、錯乱、傾眠、昏睡、関節痛、筋肉痛、筋力低下、腱反射減弱。
腎臓障害	多尿、頻尿、尿濃縮力低下、代謝産物（尿尿素素やクレアチニン）の上昇、腎不全。
血圧の上昇	高カルシウム血症
異所性石灰化	血中コレステロール値の上昇
腎・尿路結石、血管の石灰化	血圧の上昇

医 学 博 士  
宇都宮 光 明

高度の食欲不振に陥り、吐乳、体重減少、便秘あるいは下痢、多飲多尿、皮膚乾燥、筋力の低下、精神症状など多彩な臨床症状を呈する。他方、軽度な高アルシウム血症でも長期に持続すると、本来ならカルシウムが沈着しない腎臓や動脈壁などの臓器に沈着する異所性石灰化を起こし、そのため臓器障害を来すことがある。その外、血圧

ム血症に由来するのである。換言すれば、ビタミンDの作用の延長線上にある副作用であって、異物としての薬剤の薬理作用に基づく毒性とは本質的に異なるものである。従つて、ビタミンDの過剰投与を防ぐには、血清カルシウム濃度に細心の注意を払い、高カルシウム血症を起させないことが肝要なのであ



# — 治驗例報告 —

☆異物（カーリセ）を挿出した急性中耳炎

**症例** 八歳男児

くの耳鼻咽喉科医院に治療に通院していたが、予期に反して段階悪くなり、激しい痛みで夜も寝られなくなつた。どうした事かと不安になり、別の病院の耳鼻科を受診したが、そこでは手術をするように言われた。丁度そんな時にサナモア光線療法をすすめられて来所した。

**療法経過** 右耳が激しく痛み、聞こえが悪く、膿性の耳垂れが出ていた。患者は身体が割りに小さいため、右耳は二号集光器を使い、外は一号集光器を使って治療した。

右耳は痛みが激しいのでB.C.カーピンを用い、右耳たぶを中心<sup>15分</sup>、右耳と後頭部の間<sup>10分</sup>、外にA.Aカーピンで、腹、腰、背に各5分照射した。治療を始めてから三日目に耳の奥に膿と一緒に何かが見えた。それが四日目には耳の入口まで

☆ サナモアを息子  
家族にプレゼント

早速サナモア（藤沢へ御送  
り頂き有難うござります。）  
昨夜、息子から届いたと電  
話があり、すぐ使用ははじめ  
たと喜んでおりました。家に  
あるサナモアは随分古いもの

愛用者だより

☆自律神経

兄も弟も愛用しており、父が生前「サナモアをしたか?」とよく申していましたが、息子、そして今度は孫も愛用することになります。これらも宜しくお願い申し上げます。

板木県塩谷郡 手塚志津子  
昨年秋、知人に教えられサナモアを手にいました。私は、長い間自律神経で苦しんでいました。治療を始めて三ヶ月位いたつ頃から頭痛や吐き気がおさまり、今では医者通いも全くしないで過ごしております。根気よくサナモアを続けたのが良かったとつくづく思つております。  
また、顔に出来ていたシミが少しづつ取れてきており大変喜んでおります。

この点からも光線療法の効果は  
大いに期待し得る。

療法経過　Aカーボンを使用、  
左右腋の下10分、腹10分、背5  
分、腰5分、膝5分。毎日一回  
の治療を続けたところ、一五日程  
度で周囲の人から臭いがなくなっ  
たと言われ大変に喜んでいた。そ  
の後五日間治療をしてから、こ  
れを機会にこれからは自宅でサ  
ナモア光線治療を続けることを  
約束して通院治療を打ち切った。

川崎市 東京光線治療院  
海渡 一二三氏報告  
TEL ○四四一七二二一五〇六九

**症状** 急性中耳炎のため近院していたが、予期に反して段悪くなり、激しい痛みで夜も寝られなくなつた。どうした事かと不安になり、別の病院の耳鼻科を受診したが、そこでは手術をするよう言われた。丁度そんな時にサナモア光線療法を

☆症例 漢方薬の風邪薬を二、三時間の間に二包服用して二、三時間したら、顔を除き全身、中でも背中や腰や腹や大腿部が非常に痒くなつた。それで光線を掛けようと思ひ着衣を脱いだら、大きいのは直径一〇cm以上になる蕁麻疹様の発疹が至る所に出ていた。それを見たら益々

たところ、終わる頃には痛みすっかりなくなり、発疹も僅に跡形を残すだけになつた。お照射中にビワ葉煎汁、梅肉キスなどを飲んだ。

照射後には自覚症もなく気分が良かつたので、酵素風呂につづてから床についた。翌朝は姿

春日市 前田光線治療所  
前田 ミサ氏報告

上野 貞氏報告  
TEL ○七八一三九一一八三〇三  
(電話番号が変わりました)

出てきたので、ピンセットで取つてみたら、酷い悪臭の腐敗したガーゼが出た。これを切つ掛けに痛みは急速に和らぎ、安眠できるようになり、その後一週間の治療で膿もでなくなつた。  
（最終的には手術をせずに完治しましたので、大変に喜ばれました。）

痒みが増し、かいたら発疹を見るうちに互いに融合していく驚するほどの大きさに広がつた。このような発疹は生まれての経験だったので慌てて相談を兼ねて来所した。

療法経過　夕方の5時頃から夜の12時頃まで、適宜二台治療器を使って治療した。ま

サンモアカーボンの  
類似品にご注意下さい

(サンモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついてます。)

分が多い自然の偉大な力を  
蔑ろにするなら、その報い  
は大きな災いとなつて私たち  
に押し掛かってくるに相  
違ありません。

統

# カルシウムは健康の礎 (その1) — 乳ガン・結腸ガンを防ぐ —

サナモア光線協会  
医学博士 宇都宮 光

医学博士 宇都宮 光明

太陽光線が私たちの健康面を含めて、地球上に多大な恵みを与えていることには疑問の余地はありません。極僅かな知識で、現在でも未だな部分で偉大な力をもつて私たちをよくに相

の早期発見 早期治療のことです  
「二次予防」と云います)。  
一般、厚生省はガンを予防するため毎日三十種類の食品を摂るように勧告しました。これは食品の中に発ガン物質があるため、偏食しないことが一次予防に繋がるからに外なりません。このようにガンに結び付くもの(煙草、アルコール、脂肪摂取過多なども発ガンに関係します)

どのようなにしてガンになるかについての研究が進捗するにれて、発ガンに関する物質や、反対にガンを予防する作用を持つものが逐次解明され、ある程度はガンを予防できることが分かつてきました。これを「ガンの一次予防」と呼びます（ガンの早期発見・早期治療）。

ガンの一次予防について

この問題については、昭和五十九年十月一日に発刊した本紙に、「カルシウムは健康の礎」と題して記載しましたので、要旨のみを簡潔に載録しておきます。

カルシウムは骨粗鬆症、  
高血圧症の治療に有効

積極的な文獻第3回

一、運動(散歩、水泳など)  
二、光線浴(日光浴、サウナ)  
三、カルシウム(牛乳、小な食品を摂る)  
などカルシウムの摂取  
とに尽きます。

人が激増しました。この骨粗鬆症を予防したい、あるいは治したいと思うなら、最善の対応策は、

ったのです。地図はあたかも誰かがカリフォルニアの中央部からアリゾナ、ニューメキシコ、テキサス、テネシー、カロリナを結ぶ線を引いたように見えました。その線の北側、特に北東

黒く濃く、低い地域を白く色分けした地図を見ていて、乳ガン食事は爭力、結腸癌の発病に関係しない

ガーランドらの研究は、昭和五十四年の夏の昼下がりにジョーンズ・ホプキンス大学の講堂でアメリカ全土を三〇五六の区域に分けて色々なガンの発病率やそれを見た時、ガーランドらは日光が発病に何らかの関連があるのではないかとの考えがひらめいたのです。

日光が乳ガン、結腸ガン  
を防ぐ

一ランドラによつて明らかにされました。

高血圧についても同様です。殊に最低血圧一〇〇、最高血圧一七〇ミリ水銀柱前後以下の境界域にある軽症高血圧症や、妊娠後期に見られる中毒症に伴う高血圧は、安直に降圧剤に頼ることなく、減塩など一般的な注意事項に加え、カルシウムを充分に摂取することで正常域まで血圧を下げることができます。

防ぐ」と云うためには、現在一般にガンとの関連が指摘されている他の原因、特に食事の内容について検討しておく必要があります。そのためガーランドらは、アメリカ人の食事に関する

〔五ページから続く〕

あらゆる資料を調べました。その結果、ガンに関係すると考えられている食事性纖維（結腸ガンを防ぐ効果があると考えられています）、脂肪や動物（乳ガンや結腸ガンに罹病する確率を高めると考えられています）を始め、果物や野菜（ビタミンAには抗ガン作用があると考えられています）に至るまで、食事の内容はアメリカ全土で極めて酷似していることが明らかにされ、この面からは乳ガンや結腸ガンの地域差は説明出来ないことが分かりました。

世界中（日本を除く）同じ傾向がある

次にガーランドは、「日光が乳ガン、結腸ガンを防ぐ」と云う自説を裏付けるため、世界各国の日光と乳ガン、結腸ガンの発病率、死亡率の関連性を調べ、日本を除くと同様な傾向を認めることを明らかにしました（日本についてのガーランドらの見解は次号に記述します）。加えて乳ガンの死亡率が、同じ緯度でも都会になるほど高く、田舎では低いことを明らかにし、大気汚染や都会の生活様式がビタミンDを奪うのが原因になると予測しました。

### 予備的な報告

昭和五十八年十月一日付けの本紙に「光線浴にがん予防効果」の記事を掲載した際、ガーランドの最初の研究報告を引用しました。彼らは日照時間が長短と結腸ガンおよび皮膚ガンの罹患率との関係を検討し、その中で日照時間が長くなるほど結腸ガンは減少するが、皮膚ガンについては有意差を認めないと述べ、日光に抗ガン作用のあることを認めたのです。

著者は昭和五十七年四月一日の紙面に記載した「食事性纖維の効用」に、欧米の人々で罹患

ガーランドらはその後も研究を継続し、結論的にはカルシウムに結腸ガンや乳ガンを防ぐ効果のあることを立証しますが、それは次号に記述します。

（続く）

率が高い結腸ガンや成人病がアフリカの住民で低い理由として食事性纖維の果たす役割が強調されているが、高纖維食は一つの重要な要因としても、同様にガンや成人病に対しても予防効果を持つ日光も関係しているとすが、ガーランドらの研究はこの考え方の妥当性を裏付ける証左と言ふことが出来ます。

ガーランドらは、その後も研究を行って、結論的にはカルシウムに結腸ガンや乳ガンを防ぐ効果のあることを立証しますが、それは次号に記述します。

（続く）

## 謹 告 カーボン価格改定のお知らせ

平素はサナモアをご愛用戴き、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

サナモアカーボンは、わが国初の国産医療用カーボンとして昭和13年に産声をあげてから今日まで、イビデン(株)の全面的な協力を得て改良に改良を加え、最高品質のカーボンとして皆様のご愛顧を戴いて参りました。

しかし最高品質のカーボンを今後とも安定して供給するためには、新たに無公害設備の設置、製造設備の更新等差し迫った問題があります。そのため7月1日よりカーボン価格を、1箱(10本)2,300円(A、B、C、Dとも)に改定させて戴きます。

ご愛用者各位におかれましては、この点をご賢察の上、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

なお、当社といたしましては、更に高品質のカーボンを開発すべく研究を重ね、皆様のご要望に応える所存で御座居ますので、引き続きお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

(株)東京光線療法研究所

(本紙の無断転用を禁止します。)

協会では、会員を募集しております。  
入会希望者は、左記宛申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18  
サナモア光線協会TEL(03)793-1528  
NDを奪うのが原因になると予測しました。

天地創造の昔から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけではなく、目に見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に施して適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行つたためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同載いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

医学博士  
サナモア光線協会  
宇都宮 光明



サナモア 光線協会  
趣意書